

「森でつながる」 第三回 こんぶくろ池展に想う

金児 道代

「おれ、これがいいな♡」

「うん、うん、あたしも♡それと、これもカワイいな♡」
デート中の高校生カップルの会話です。

また、別の所からは、

「ママあ～！もっとカマキリにはりたいよお～」

「さっきはったでしょ！」

「もっとはるう～！！」

小さな男の子とお母さんの声も聞こえてきます。さて彼等は、一体何をしているのでしょうか？

答え。「気に入った作品にシールを貼ってください」という呼びかけに反応してくださっているのです。ニコちゃんマークのシールが、絵画や写真の下にドンドン増えていきます。そんな楽しそうなお客様たちの様子を柱のかけから観察している私。ドラマ「家政婦は見た！」の市原悦子さんみたいです。

今回、昆虫写真で初めて参加させていただきました。私のように無名で得体の知れない者にたくさんのスペースを与えてくださり、とても有り難く思っています。また、展示の準備中「開場時間に間に合わないかも～！！」とあせっていたら、たくさんの会員の方々が、手を貸して下さいました。「ひとりでは何も出来ないのだなあ～」と実感。人の有り難さが身に沁みています。

さて、会期中ずっと会場にはりついていた私。とても心地よい空間にどっぷりつかることができました。例えるなら「温泉」のようでありました。なぜそんなに心地よかったのでしょうか？

きっと、こんぶくろの池と森を大切に思う気持ちが、皆さんおんなじ。そしてまだ知らない人達に教えてあげたいという気持ちもおんなじだからではないでしょうか。そして、それぞれの方が得意な分野で、または得意な方法で、楽しみながら発揮されています。なんて素敵なんでしょう！！「もしかしたら、人としての理想形が、ここにあるのでは？」そんな予感さえしています。

あらためて池と森は、かけがえのない存在なのだと思います。そのおかげで、人と人が出会えてつながることが出来るのですね。

湧き水のごとく、感謝の気持ちを絶やさないようにしたいものです。

第三回 こんぶくろ池展 絵画・写真講評

岡本 昇

柏市民ギャラリーの使用目的が「各団体が、工芸、美術、写真展示の場」であることを踏まえ、従来の展示スタイルを踏襲しつつ、今回は絵画・写真の展示（動画の放映も）コーナーを広く設け、鑑賞した方から良いと思った作品に「しるし」をつけてもらうこととしました。

絵や写真の下に「ニコニコマーク」のしるしをつけてもらったところ、人気が最も高かったのは下表に示す通り駒嶺さんの「初冬の氷結」。誰もが感激する一枚の写真。冬の公園は落葉樹の葉が落ち殺風景です。その中でこんなに美しい景色があるのかと改めて感じさせるこの作品は最高です。凍てつく水と光と影。絶妙なバランスです。

「こもれび」も朝の陽光を見事にとらえた作品でいずれも早朝にシャッターを……。写真の会にも所属していますが、里山活動に参加する際は寡黙に、誠実に取り組む男の中の男っ気を感じさせるおじさまです。

日頃の活動にあまり参加されていない村上さんの絵は、玄人肌であり、「画伯」の領域。その筆のタッチは「流石に」というほか言葉が見つかりません。「緑風」のタイトル通り水面を微風が撫でていくようなホワイトの光。傍らに黒い古株の突起。そこに作者の思いが詰まった秀作というべき作品ではないでしょうか。大変印象的であり他の作品もいずれ劣らずお見事な構図。

埋もれていた才能を見出し池展に是非とも、と出展をお願いした金児さん。「池にあいさつ」の写真は水鏡に波紋が広がってくるような錯覚を覚える逸品。こんぶくろ池の魅力を演出してくれた自信作でしょう。他にアオイトトンボの七色の翅や蜘蛛など昆虫を一瞬に捉えた憎い作品の数々。

今回出展頂いた各自の作品は、いづれも点数をつけるには難しいものばかりでした。

市民の皆様から頂いた評価結果						
行事名	第3回こんぶくろ池展（平成29年12月21日～24日）					
種類	No.	種別・大きさ	作品名	作品者名	評価点	備考
油 絵	1	F50	緑風	村上義彦	35	②
	2	F50	初冬	同	25	
	3	F10	早春	同	24	
	4	F8	初秋	同	22	
	3	F15	静寂	同	20	
	6	F8	三本の木	山根康壮	4	
写 真 1	1	四つ切り	初冬の氷結	駒嶺重房	39	①
	2	同	こもれば	同	26	⑤
	3	同	初夏の装い若葉とコブシ	同	15	
	4	同	水面に生えるガマとスイレン	同	11	
	5	同	かもがのんびり	同	11	
	6	同	木俣にのぞく初水	同	10	
	7	同	池にきしょうぶ	同	9	
	8	同	スイレン	同	8	
写 真 2	1	四つ切り	池にあいさつ	金児道代	34	③
	2	同	アオイトトンボ	同	32	④
	3	同	謎の蜘蛛	同	21	
	4	同	スケバハゴロモ	同	20	
	5	同	ナガコガネグモ	同	19	
	6	同	ツマグロオオヨコバイ	同	15	
	7	同	ハラビロカマキリ	同	14	
	8	同	カタハリウズグモ	同	12	
	9	同	森のプラネタリウム	同	12	
	10	同	アオマツムシ	同	11	
	11	同	アキアカネ	同	11	
	12	同	ヤマトシジミ	同	11	
	13	同	コアオハナムグリ	同	11	
	14	同	アシダカグモ	同	10	
	15	同	ヒメアカタテハ	同	9	
	16	同	スズメバチ	同	7	
	17	同	ナナホシテントウ	同	6	
	18	同	ツチイナゴ	同	6	
	19	同	ウラナミシジミ	同	5	
	20	同	ギンツバメ	同	3	

第三回 こんぶくろ池展 アンケート集計結果

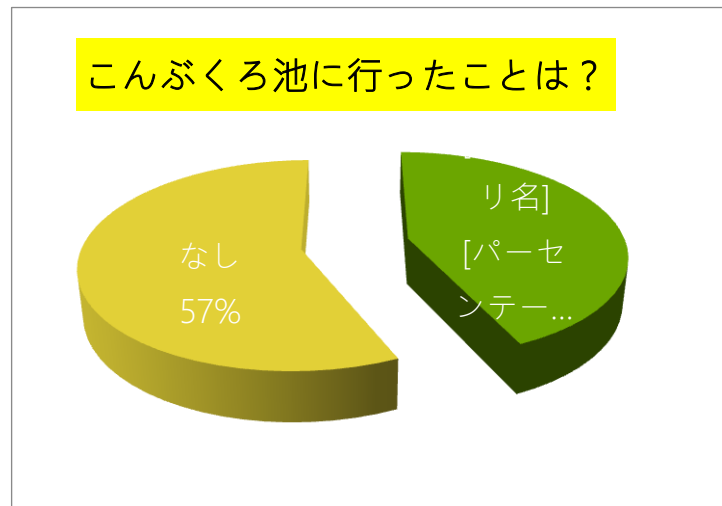
事務局長 古橋 勲

入場者数	
第一回	1,170名
第二回	905名
第三回	1,493名

2017年（H29）12月21日（木）～24日（日）、パレット柏市民ギャラリーでこんぶくろ池展を開催し、1,493名の入場者の内、168名からのアンケートを回収しました。下記に集計結果を報告いたします。

【1】 こんぶくろ池自然博物公園に行った事がありますか？

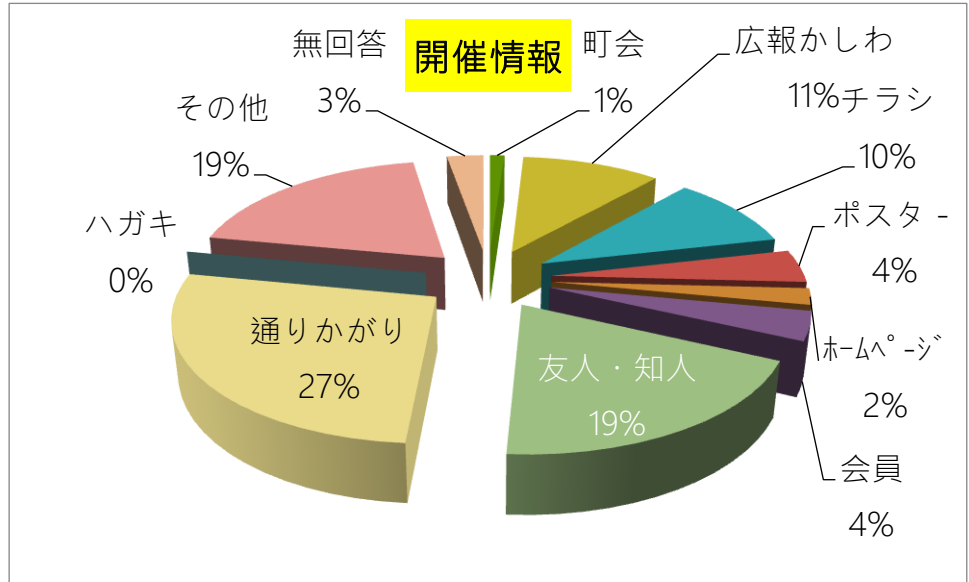
第一回こんぶくろ池展（2013/12・高島屋）のアンケートでは、こんぶくろ池自然博物公園に行った事があるとの回答は44%で、第二回こんぶくろ池展（2015/10・高島屋）では20%増えて64%でしたが、今回のパレット柏では43%に戻っている。開催場所のパレット柏に来る人にはまだまだこんぶくろ池を知らない人が多いと思われます。



【2】 こんぶくろ池展の開催情報をどこで知りましたか？

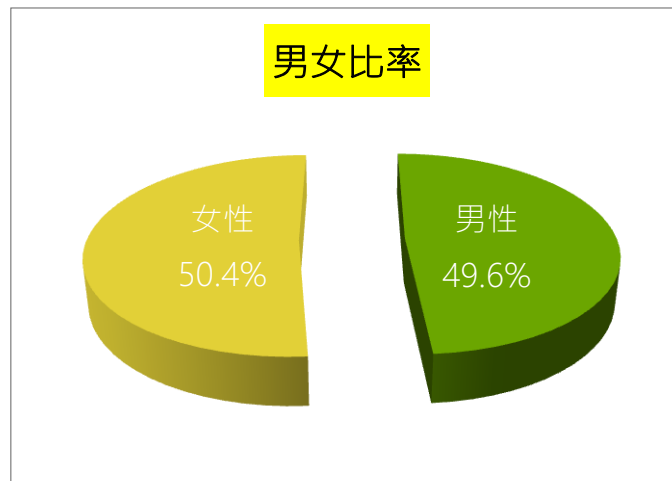
- ① パレット柏で通りかかって
- ② その他
- ③ 友人・知人から
- ④ 広報かしわ
- ⑤ チラシを見て の順でした。

その他の中身は不明ですがパレット柏に用事がある人が多く含まれていると思われます。中には12/22のJCOMのニュースを見たという人もありました。



【3】来場者の男女比率は？

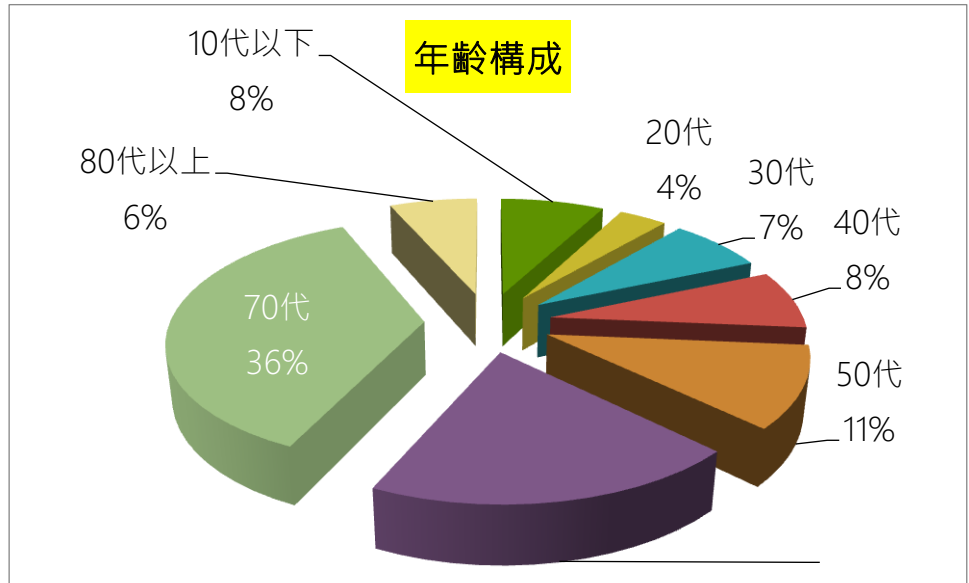
第一回の時の男女比率は、女性 47%、男性 35%、無回答 18%、と女性が多かったが、第二回の時は、男女比はほぼ同数であった。今回も男女比はほぼ同数であった。



【4】来場者の年齢構成は？

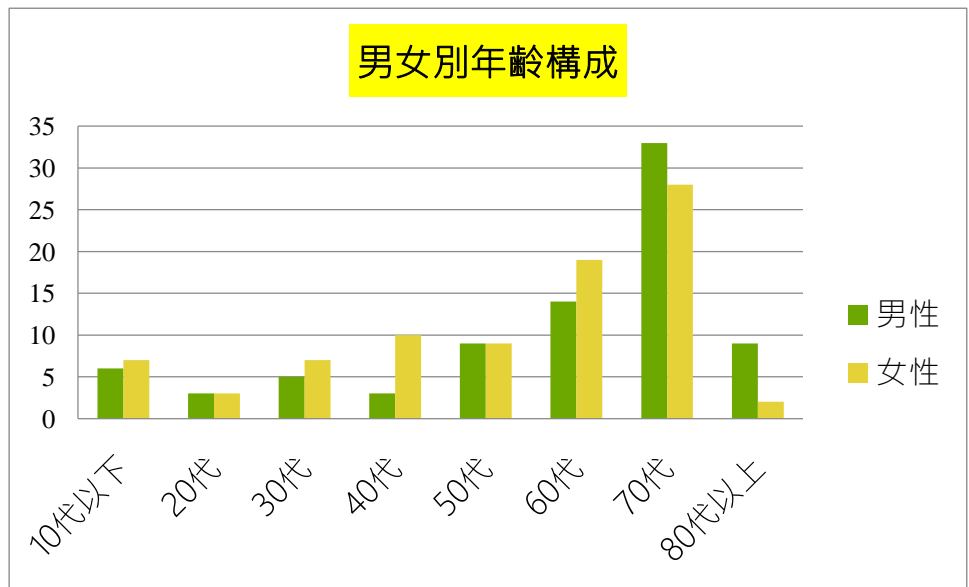
第一回	60%
第二回	80%
第三回（今回）	63%

年齢構成で 60 才以上の割合は、少子高齢化社会の表れを反映している。若い世代に関心を持たせるための工夫を考え直す必要がある。



【5】来場者の男女別年齢構成は？

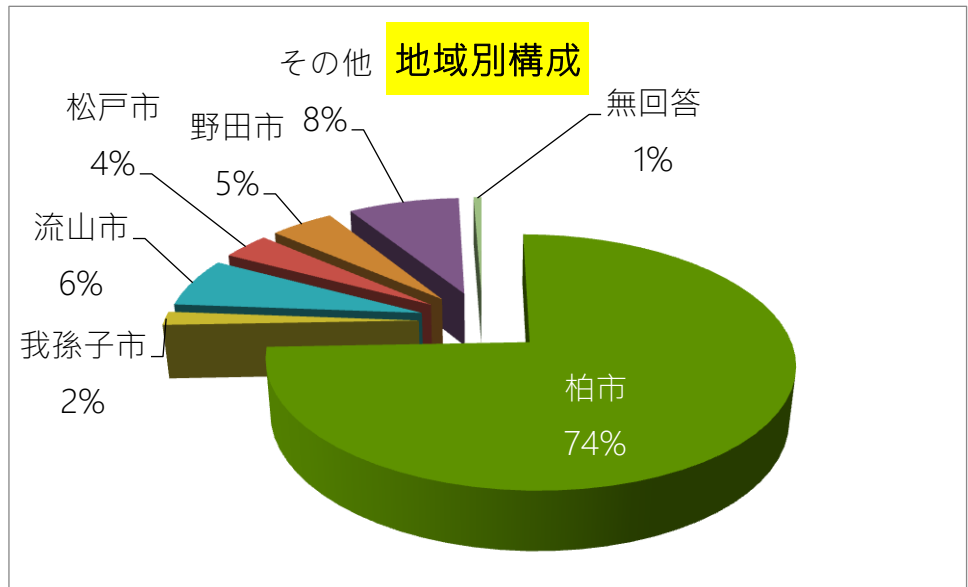
70代以上を除いた年代層では女性の方が多い。特に、70代の男性は団塊の世代の少し前、高度成長期の担い手の世代であり、自然に対する意識の高い世代ともいえるのか？



【6】来場者の地域別構成は？

第一回	41%
第二回	73%
第三回（今回）	74%

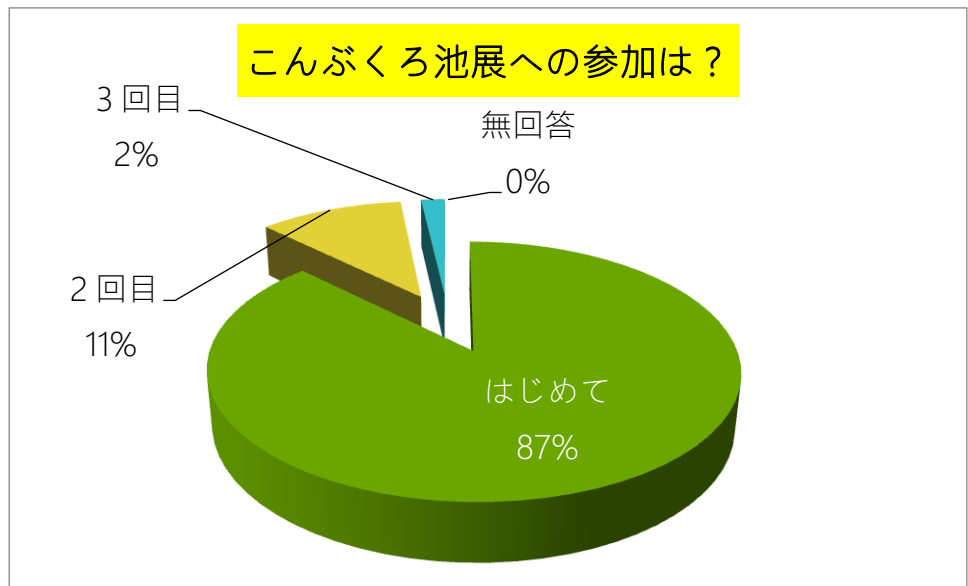
地域別構成で柏市の占める割合は、今回も多く、多くの柏市民が来場してくれました。



【7】 こんぶくろ池展への参加は

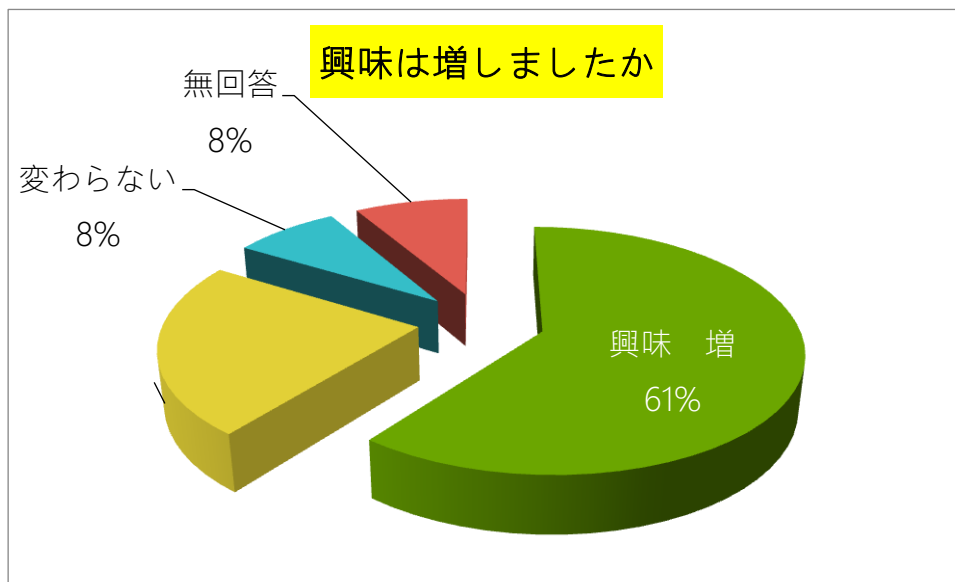
第一回	—
第二回	84%
第三回 (今回)	87%

初めて池展に参加した割合は左記の通り。今回も、新たに多くの人にこんぶくろを知ってもらうとの目的は達成できたものと思われる。



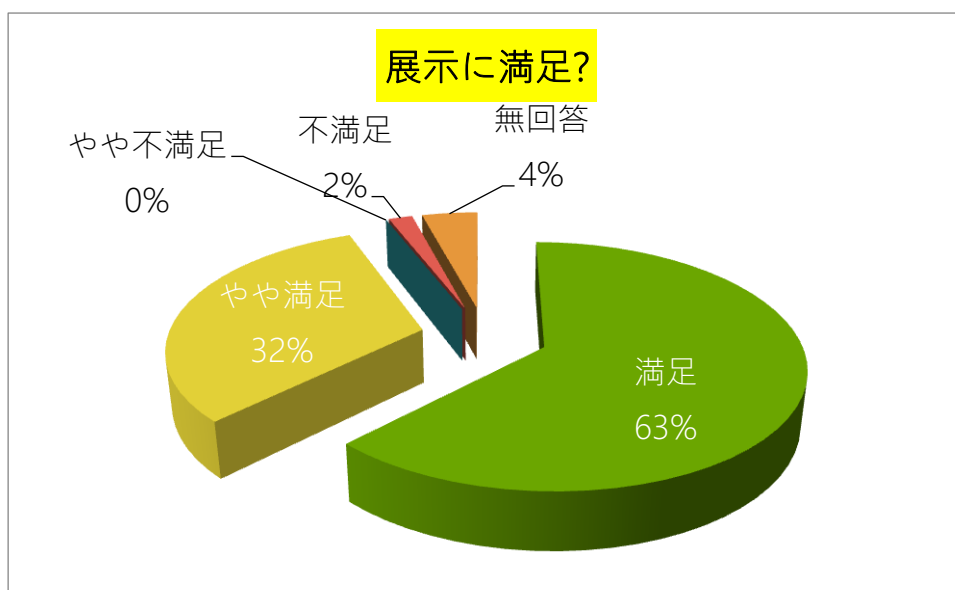
【8】 こんぶくろ池自然博物公園への興味は増しましたか？

こんぶくろ池展に参加して興味が増した方が半数以上あり、少し興味がわいた方を含めると 84%と、池展を開催した成果が感じ取られました。



【9】 こんぶくろ池展の展示に満足されましたか

半数以上の方には満足いただけたようですが、32%の方は『やや満足』で、具体的に何が足りなかったのかは不明です。NPOとしては最善を尽くしたつもりですが、NPOに対する期待は我々が思っているよりも大きなものがあり、反省すべき点だと思われま



NPOの活動は、当事者のみの自己満足に終わることなく、市民目線で進める必要があると思われま